

大阪観光局・28年度事業方針について

1. 観光を成長戦略の起爆剤として、地域の総合的戦略産業、基幹産業として位置づける。
→観光は経済的波及効果が大きく、すそ野が広い。あらゆる産業を取り込むことができる。

2. 関西の広域観光のハブとしての機能
→関西の各地方公共団体との連携

3. 高付加価値型産業として生産性の向上を推進（地域としてもうかる仕組みづくり）
 - (1) リサーチ、マーケティング、広報・広聴、戦略・政策機能の強化
→DMOの形成(官民一体となったオール大阪の取り組み)
 - (2) サービスの価値の多様性、ニューツーリズムの推進
 - ① スポーツ・文化
 - ② 食文化
 - ③ ショッピング
 - ④ 医療
 - ⑤ エンターテインメント・サブカルチャー
 - ⑥ ものづくり
 - ⑦ 歴史的な建造物
 - ⑧ その他
 - (3) 消費の時間軸を延ばす →24時間観光都市
 - (4) MICEの強化

(5) 富裕層対策

(6) **2019** 年ラグビーワールドカップ、**2020** 年東京オリンピック・パラリンピック、**2021** 年ワールド
マスターズゲームズ等への対応

(7) I Rの推進

4. 外国人観光客の受入環境の整備→顧客満足度の向上・リピーターの確保

(1) 無料Wi-Fi環境の整備

(2) 多言語対応、案内表示、標識の充実、観光案内所の充実

【例】「大阪」「梅田」の標示をわかりやすく

(3) 宿泊施設供給の確保

①ホテルの立地 旅館の活用

②民泊

(4) 海外のクレジットカード利用促進

(5) ムスリム対策

(6) 外国人旅行者の安全・安心確保

5. 国内観光の推進

(1) 首都圏などにおけるプロモーションの強化

(2) **NHK** 連続テレビ小説「あさが来た」、大河ドラマ「真田丸」を活用した誘致活動の推進

(3) その他